

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 令和元年5月11日(土)
9:00~9:45

まちづくり協議会区域名 修道まちづくり会

会場 五十鈴中学校 多目的ホール

参加者数 47人



《質問・意見》

市内循環バスについて中之町にしかバス停がない。古市で利用する需要もあるので、できるものなら古市にもバス停を作ってほしい。

《回答》【市長】

ご意見ありがとうございます。中之町のバスの乗客数は増えている要因としては、みんなで連れ添って買い物に行く際に利用されていると聞いています。

《質問・意見》

月読台では、こども会に入っているこどもが40人前後、以前より増えている。こどもが修道小学校に通っているが、学童に入れなくて困っている。また他地区の学校が近く、その学童に行かせているが、安全対策について不安な部分がある。学童内で子供たちが悪ふざけをしているようだ。市として状況の把握をしてほしい。

《回答》【市長】

多くの施設が民間で運営を行っている。行事を把握できていない部分もある。安全管理について一度チェックをしていきたい。各学校区単位で学童を設立しているが、みんなが入れる状況ではない。現状を把握し課題解決について健康福祉部に宿題を出しているところです。ご意見ありがとうございます。

《質問・意見》

自転車で良く長距離を走るが、子供でも安全に10kmほど自転車で走れる所があればいいと考えている。

《回答》【市長】

国も自転車を使ったツーリズム観光の施策を進めている。伊勢は、なかなか道路構造が良くない状況であるが、いい形を考えていきたい。観光協会のレンタサイクルも利用が増えている。健康志向からも考えていきたい。

《質問・意見》

循環バスの件について、私が住んでいる地区は坂道が多い地区であり、バス停がない。国道を中心に回っているが、住宅地を中心に走る方向で考えてほしい。街中を高齢者が手を上げて気軽に止まってもらえるようにしてほしい。バスを小型にし、バス停を団地内に作ってほしい。

《回答》【市長】

循環バスでできるところ、できないところをどうやって改善するか、いろんな手だてを検討している。国全体で高齢化による地域社会の公共交通について取り組んでいる。先進地事例を参考にしていきたい。沼木バスというやり方、地域で運営企画、費用は行政、有償のボランティアなどいろいろな方法がある。さまざまなご意見をいただきたい。

《質問・意見》

伊勢市ではゴミ袋を、市民が購入している。伊勢市以外ではコンビニの袋で出せるところがある。コンビニの袋で出せるようにならないか。以前に比べて質、サイズが変わったように思う。市販のごみボックスには合わない場合がある。

《回答》【市長】

サイズや質については、チェックする。便利さを追求すると、大量のごみが出てしまい、中身のいい加減な捨て方の要因となる。ゴミ袋のあり方については、将来はもう少し有償化を進めることにより、ごみ焼却場の費用やゴミ回収の費用も出す人が負担する流れの途中段階にある。

《質問・意見》

市としての高齢者向けの施設があるか。月々にかかる負担に補助はないのか。

《回答》【市長】

宮川沿いに一部事務組合の高砂寮があります。介護施設の量も増え、少しずつ空きが出てきている。経済的な面で入れない場合どうするか検討していく。

《質問・意見》

家族3人が循環バスを利用している。娘が朝、学校へ行くのに利用しているが帰りの時間利用できないときもある。遅い時間の運行をしてほしい。

《回答》【市長】

百人百様な部分もあり、ご意見として伺っておきます。

《質問・意見》

最近、園児を巻き込んだ痛ましい事件があった。市全体で通学路の再点検をしてはどうか。

《回答》【市長】

県の財政状況が良くない中、横断歩道の白線を引き直すなどの道路整備環境の改善については、県警の管轄であり難しい部分もあるが、しっかり市として伝えていきたい。運転中の「ながらスマホ」など、ドライバーの意識の徹底も必要であると思っている。